

人を対象とする医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：2020年4月28日
研究課題名： 重症喘息における生物学的製剤への反応性を規定する因子の検討 研究期間：倫理審査承認後～西暦2025年12月31日
研究対象：これまで喘息に対して生物学的製剤が投与されている患者様
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療記録、検査結果、治療内容） 上記材料の対象期間 倫理審査承認後～2025年12月31日
意義・目的： 本研究は、重症の喘息に対して生物学的製剤と呼ばれるおくすり（ゾレア、ヌーカラ、ファセンラ、デュピクセント）を使用中の患者さんが対象です。喘息は近年急速に増加しており、日本の全人口の3～6%が喘息であり、またそのうちの約1割が重症に分類されると推定されています。個人の健康寿命に与える影響は大きく、また社会経済に与える損失も計り知れません。 しかし患者さんにとって、どの生物学的製剤が最適なのかについては実はまだよく分かっていません。さらに、ひとつ目のおくすりの効果が不十分だったときに、次にどのおくすりを選択するべきか、についてもよく分かっていないのが現状です。 本研究は、すでに生物学的製剤をお使いの患者さんを対象に、どのような臨床情報が治療効果に影響しているのか、今後薬剤を止めうるのかなどを検討し、より効果的な喘息治療を受けられるようにすることが目的です。
方法： 通常の診療で行った、問診や身体所見、検査結果、治療内容を用います。研究のために新たに採血や検査をすることはありません。治療が有効であった群とあまり有効でなかった群で何か異なるところがあったか、などについて解析を行います。データの使用をお断りになる場合は直ちに情報の利用を停止しますのでご遠慮なくお申し出下さい。お断りのお申し出があっても、患者様の診療上の不利益は生じません。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 呼吸器内科 飯島弘晃（代表番号 029-851-3511）